

# 長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 **長野市岡田町** 30-16 TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580 メール:n-msr@siren.ocn.ne.jp WEB:http://www10.ocn.ne.jp/~n-msr/

# 第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財) 長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、 長野県木材協同組合連合会

【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、 NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、 長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

【応募基準】(1) テーマ

(対 尔丁の小子仪、十子仪、自一つ) (後後子仪の九里工化の自

最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)

(2) 大きさタテ・ヨコ・高さ それぞれ75cm以内とする。

(3) 締切り 平成26年9月12日(金)

(4) 送り先

#### 【事業日程】

年月日	場所	内 容	
平成26年 6月中旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付	
7月~ 8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配	
9月12日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)	
9月12日~10月 3日 県下全域		各地区審査会を実施	
10月10日 松本市		長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会	
10月14日~17日 松本市		最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示	
10月20日~31日 長里		最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1Fロビーにて展示	
11月22日 松本市		松本市「松本市美術館」にて表彰式	
平成27年 3月 日 (予定)		全国児童生徒木工工作コンクール審査会に作品出展	
6月 日(予定)		全国児童生徒木工工作コンクール表彰式	

#### 【審 査】 ≪基準≫

各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。

また、小学校低学年(1~4年)、小学校高学年(5~6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上 4部門に分けて審査を行なった。

- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
- ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
- ・機能、デザインが優秀であること。
- ・工作技術が優秀であること。

【**審 査 会**】 平成 2 6 年 1 0 月 1 0 日 (金) 松本合同庁舎 (502会議室)

審查委員

【審查委員】 審查委員長 長野県教育委員会中信教育事務所 指導主事 竹内 秀昌 様 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室

> 担当係長 糊倉 幸裕 様 中部森林管理局 中信森林管理署 総括地域林政調整官 栁澤 元雄 様 (公財)長野県緑の基金

常務理事兼事務局長 菅谷 幸博 様 長野県県産材振興対策協議会

幹事 松本 寿弘 様 長野県木材協同組合連合会

理事長 細川 忠國 様 長野県木材青壮年団体連合会

宮川 秀紀 様 会 長 長野県木材青壮年団体連合会

直前会長 中澤 勝成 様

長野県木材青壮年団体連合会 代行副会長 田中 俊章 様

長野県木材青壮年団体連合会 副会長 大藏 俊介 様

長野県木材青壮年団体連合会 土倉 宜也 様 副会長

(左から)

長野県林務部 信州の木活用課

県産材利用推進室 糊倉担当係長様

中部森林管理局 中信森林管理署

栁澤総括地域林政調整官様

長野県教育委員会事務局 中信教育事務所

竹内指導主事様

(公財)長野県緑の基金 菅谷常務理事兼事務局長様

長野県木材協同組合連合会 細川理事長様

# 【審査風景】





【展示風景】 平成26年10月14日~10月17日 平成26年10月20日~10月31日 松本合同庁舎1階ロビー 長野県庁1階ロビー





計11名





#### 【表彰式】 平成26年11月22日(土)

松本市「松本市美術館」









# 第37回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

# 1. 最優秀賞(長野県知事賞)

作品名	氏 名	学校名	学 年
森の中のツリーハウス	近江澤 岳 人	長野市立南部小学校	4年
立派な水車	坂 口 勇 斗	上田市立神科小学校	6年
小物入れ付きティッシュケース	北 島 瑞 季	原村立原中学校	1年
プラモデル専用格納庫	降旗義彰	長野県諏訪養護学校	高等部3年

### 2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
災害から龍(たつ)	山 川 飛 優	南木曽町立南木曽小学校	6年

# 3. 中部森林管理局 局長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
アンキロサウルス	宮 坂 翔 吾	小諸市立水明小学校	2年

# 4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏	名		学校名	学 年
虫たちの野原	林	実	緒	下諏訪町立下諏訪北小学校	3年

# 5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名    氏名		学校名	学 年
和太鼓	土 田 慶 太	小諸市立美南ガ丘小学校	6年

# 6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
ひみつきち	向 山 恭 平	茅野市立宮川小学校	2年

# 7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
からくり金庫	北原駿介	駒ヶ根市立赤穂南小学校	5年

### 8. 優秀賞

作品名	氏 名	学校名	学 年
サッカーをする少年	小田切 れいや	長野市立川中島小学校	3年
教科書ラック	岩 井 太 平	長野県立屋代高等学校付属中学校	3年
真田幸村のかぶと	田川琉翔	上田市立西小学校	5年
ルリコンゴウインコ	武藤まり	御代田町立御代田南小学校	6年
わかめコースター (合作)	北 島 彩 音	長野県立松本盲中学校	2年
	矢 澤 彩 夏	II	"
海の思い出	諏 訪 太 星	岡谷市立田中小学校	3年
木にとまっている虫達	古 畑 桐 都	茅野市立宮川小学校	5年
流木のかさ立て	山内勇人	南箕輪村立南部小学校	5年
ねているライオン	松原帆奏	南木曽町立南木曽小学校	1年
昔の木舟のうす	下 坂 優 斗	上松町立上松小学校	6年

#### □第37回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

	総参加人数	5,476 名
参	小学校	150 校
加	中学校	4 校
学	盲・ろう・養護学校	3 校
校		
	合 計	157 校

審査会出品数	110 点
入選(入賞リスト 1~7)	10 点
優 秀 賞 佳 作	10 点
佳 作	467 点
努力賞	5,020 点
総作品数	5,507 点

#### 最優秀賞(長野県知事賞)

# 森の中のツリーハウス

### 長野市立南部小学校 4年 近江澤 岳 人

ぼくは、森の中で遊ぶことが大好きです。森には、たくさんの木があって木登りをするのがお気に入りです。だから、ぼくの夢はツリーハウスを作ってそこに住むことです。そこで、自分が住みたいツリーハウスを形にすることにしました。

気に入っているのは、てんぼう台です。そこから、周りのいろんな木を見たら楽しいだろうなと思いました。

大変だったのは階段で、しっかりつけるために、 何度もつけ直しました。かん板の名前に使った細い 枝を切ったりつけたりするのも大変でした。グルー ガンで何度もヤケドをしていたかったです。

いつか、本当に住めるツリーハウスを作ってそこで生活したいです。そこからのながめや森の中でのバーベキュー、下を流れる川での魚つりを、想像するだけで楽しみです。



#### 最優秀賞(長野県知事賞)

# 立派な水車

#### 上田市立神科小学校 6 年 坂 口 勇 斗

この水車を作ったきっかけは、家族で出掛けた 時、水車小屋があったので、この水車小屋を作りた いと思いました。

でも作るのにはむずかしそうだったけど挑戦をしました。この水車でむずかしかった所は水車でした。回りの板を丸く切ることがむずかしかったです。それと組みつけがむずかしかったです。 また水車を回す時に、ぼうを動かす構造がむずかしかったです。水車の色がよく分からなかったので、もう一度水車小屋を見て来て水車小屋に色をつけました。完成して水車を回したら音が、したので、ぼくは、感激してとてもうれしかったです。

小学校最後の木工作品の思い出になりました。あ りがとうございました。



#### 最優秀賞(長野県知事賞)

# 小物入れ付きティッシュケース

原村立原中学校 1年 北島瑞季

私は、最初ティッシュケースとゴミ箱を一緒にした物を作ろうと考えていました。そしてどのような形にするか家族に相談している時に、ティッシュが何かの煙などに見えるような形はないかと思いつきました。そして考えていくうちに「船」の形が思いつきました。そして作っていくうちに、ゴミ箱ではなく、小物入れの方が良いのではと思い小物入れにしました。船の先端を曲げたり、糸ノコギリの台をななめにして使ったり、難しい作業もありましたが、大人に手伝ってもらいながら完成することができました。今年も、良い経験になったと思います。

まさか、県知事賞をとれるとは、思ってもいなかったのでうれしかったです。来年も、頑張って作りたいです。



#### 最優秀賞(長野県知事賞)

# プラモデル専用格納庫

長野県諏訪養護学校 高等部3年 降 旗 義 彰

僕は、プラモデル専用格納庫を作りました。

作った理由は二つあります。一つは、僕のプラモデルの数が増えたので、綺麗に並べて片づけようと思ったからです。もう一つの理由は、去年、友達が作った作品が、県知事賞を貰ったので、僕も素晴らしい作品を作って賞を取りたかったからです。

完成するまでには、ものすごく時間がかかりました。放課後に残って製作したので、作り甲斐がありました。特に、鑢がけや、扉を蝶番で取り付けるのは苦労しました。

賞を貰ったという知らせを受けた時は、本当に、 言葉では説明できないくらい嬉しかったです。先生 や友達、親戚や家族にその事を伝えると喜んでくれ ました。僕はこれからもいろいろな物を作っていき たいです。

賞を取れたのは、先生や家族のおかげだと思います。僕を支えてきて下さった皆さん、本当にありが とうございました。



#### 長野県教育委員会賞

# 災害から龍(たつ)

### 南木曽町立南木曽小学校6年 山川飛優

今年の木工作品は、何を作ろうかとなやみました が、七月九日に自分の町で土砂災害がおこり、町の 風景が変わってしまいました。

町の人々や、ボランティアの人達が復旧作業を毎日してくれていました。ぼくのおじいちゃんの家も土砂で大変でしたが、みんなの力で片付けが速く終わりました。町全体が災害から立ち上がろうとしています。木工作品には、その思いも込めて作りました。 龍(りゅう)は 龍(たつ)とも読みます。だから龍を作りました。

龍のウロコは、一つ一つ彫刻刀で掘りました。とても細かく大変だったけど削り落とさないように気をつけて掘りました。町の木工作品展では、六年間で三回入選しました。小学校最後で長野県教育委員会賞をいただく事ができてうれしかったです。賞は、取れてうれしかったけど、災害があった事は、悲しかったです。



#### 中部森林管理局長賞

# アンキロサウルス

#### 小諸市立水明小学校 2年 宮 坂 翔 吾

ざいりょうは、家のちかくの山にとりに行き、からまつのまつぼっくりとえだをひろってきました。 まつぼっくりは、せなかとしっぽに一まい一まい はりつけて、きょうりゅうのように見せました。

目のところは、ひまわりのたねをつけました。

くふうしたところは、足をくるみのからをいくつもかさねてつかい、まつぼっくりでゆびをつけたところです。とげは、木をやすりでけずってとがらせてつけました。足をつけるときが一ばん大へんでした。ざいりょうがぜんぶぼくの家のまわりで手に入るなんて、とてもしあわせです。



#### 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

# 虫たちの野原

下諏訪町立下諏訪北小学校3年 林 実緒

小学一年生の時から、木工作品を作っていて、今年は、生き物をモチーフにした作品を作ろうと思いこの作品を作りました。

一番むずかしかったのは、草でした。木の板に下がきをして、その線どおりに、糸のこで切っていきました。この時に足でふみつけて、切っていたので、足に糸のこがあたりそうで、こわかったです。そして、切れた板にやすりをかけました。

花やカブト虫、クワガタ虫、テントウ虫はくるみのからで、ちょうは、太い木をわ切りにした物をくみ合わせて作りました。

わたしが、この作品で気に入っている所は、中心にある大きな木です。なぜかというといくつものえだを太い木にさしてあるのに、一つの木に見えるからです。

来年も生き物をモチーフにした作品を作りたいです。



# 長野県県産材振興対策協議会 会長賞 **和太鼓**

小諸市立美南ガ丘小学校 6年 土 田 慶 太

ぼくは、両親と、小さいころから和太鼓をやっているのですが、「ドーン」とひびく、和太鼓を作ってみたいと思い父にお願いして、協力してもらい製作しました。

和太鼓を作るのに苦労したところは、まず、太鼓 胴を作るとき、角材を台形にして、それを、貼り合 わせる時、立てて並べるとすぐたおれてしまいうま くいかないので、裏にテープを貼り、横に並べて接 着ざいを付けてまるめていったら、うまく輪になり ました。またその胴を削るのに電動工具を使ったの ですが、けがをしないようにしん重に削りました。 そしてと装ですが、気温が高かったせいかニスがす ぐ乾いてきてしまい、あまりうまくぬれませんでし た。

次に革を張るとき、革を水につけてやわらかくするのですが、水から出してから時間が経つと革が乾



いてきてしまい、ロープをかけた耳の部分が破れてきてしまって、強く張りきれませんでした。またその革ですが、レザークラフト用の端切れを利用しました。

革がある程度張れたら太鼓鋲を打つのですが、鋲の頭が丸いので打ちそこなって指をはたいてしまいとて も痛かったです。

そしてバチ作りですが、カンナで角材の面を取り丸く削り、紙やすりで角が取れるまでひたすらこすりました。手のひらがまさつで熱くなり赤くなってしまいました。

できた太鼓を打ってみましたが、出来上がった直後は意外と良い音がしたのですが時間が経つにつれ低い音になってしまいました。

プロのような良い音のする和太鼓を作るのはとても難しいなと思いました。 またいつか「ドドーン」と腹の底にひびく大きな和太鼓を作りたいなと思いました。

#### 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

## ひみつきち

茅野市立宮川小学校 2年 向 山 恭 平

ぼくは、この「ひみつきち」で、友達といっしょ に毎日たくさん遊びたいと考えて作りました。

はじめに、ツリーハウスをのせるために桜の木を切りました。のこぎりで切るとき、かたくて手がしびれました。

つぎに、栗の枝でツリーハウスを作ろうと考え、 たくさんの枝を短く切っていきました。枝を切るた めのはさみをにぎると、手が痛くなりましたが、が んばりました。その後、切った枝を積んでいくのが 楽しかったです。

友達と遊ぶ場所なので、ブランコやシーソー、すべり台も作りました。ツリーハウスから木へと渡れるように橋もつけました。すべり台は、トンネルのように暗くするとスリルがあって楽しいから、竹を使いました。

一番気に入っているのは、木にカブト虫とクワガタ虫をつけたことです。足を付けるところが、細かくて大変でした。上手にできてよかったです。



# 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞 からくり金庫

駒ヶ根市立赤穂南小学校 5年 北 原 駿 介

ぼくがからくり金庫を作るのに苦労した事が二つ あります。

一つ目は、金庫のフチを茶色にしたことです。お 父さんにアドバイスをもらって、かっこ良くなるな と思い、ぬることにしたのですが、この作業の時 に、フチ以外の所に色がつかないようにマスキング テープで新聞をはりましたが、テープをはる時に まっすぐはらなければいけなかったので、何度もは り直して大変でした。でも上手にはれたので良かっ たです。

二つ目は、金庫のダイヤルを作る所です。ダイヤルのうら側に、木の板が三枚入っているのですが、それぞれの板をとびらのうら側に付けるときに、他のパーツとうまくかみあわなかったので、何度もつけ直して、やっと上手に、くっついたので、うれしかったです。

この苦労を乗りこえて、大きな賞をとることができてとてもうれしかったです。来年も大きな賞をとれるように、がんばりたいです。

